

# 限られた財源を

予算特別委員会から

# 最大限有効に活用するために

～町の予算はもっとも身近な予算です～

❗ 救急車購入費が計上されているが、入れ替えが必要なのか。

A

現在の車両は8年ほど経過しているが、走行距離が14万キロを超えている。故障の懸念があるので入れ替えを行い、万全を期したい。



❗ クリーンセンター整備事業の工事請負額が高額だが、どのように見積もったのか。

A

コンサルタント会社に長寿命化の調査を依頼し、見積もったものである。



❗ 国の予算関連法案が成立しなかった場合は、どのように対応するのか。

A

特に子ども手当が失効すると児童手当に戻るが、時間的に対応は難しい。不成立の場合の手立ても考えておくが、国からの指示を待つしかない。

❗ 保育料収入が減少しているが、要因は何か。

A

個人所得の減少による影響を見込んでいる。税制変更の要因は考慮していない。

❗ 中小企業等緊急支援事業と小口資金の予算が大きく減少しているが、なぜか。

A

実績を考慮した減額である。

❗ 庁舎外壁改修工事の見積もりは、どのように行ったのか。

A

1社に見積もってもらったものだが、改修方法を含めて研究していく。

町長は、施政方針の中で「住んでいる町から住みたい町へ」と位置づけ、平成23年度から始まる「第5次総合計画」の6つの基本目標を実現するための予算編成を行っています。

### 【第5次総合計画】

#### めざす将来像は

#### 「県央の未来を紡ぐ玉村町」

##### ●健康・福祉分野

子育てしやすく、健康で安心して暮らせるまち

##### ●教育・文化分野

心豊かな人材を育み、郷土の歴史・文化を大切に  
するまち

##### ●自然・環境・安全分野

豊かな自然と共生する、安全で環境に優しいまち

##### ●産業経済分野

地域経済が元気で就業機会に恵まれたまち

##### ●都市基盤分野

コンパクトで利便性と快適性が高いまち

##### ●協働・行財政分野

地域力を発揮する、住民主役のまち

予算は、住民の生活に直接関係するものです。

議会は、町長の方針をふまえた上で、住民の立場に立ち、公平かつ客観的に予算を審査しなければなりません。

各会計予算は、議員全員で構成する予算特別委員会に付託し、2日間にわたって慎重に審査しました。



議会費が大きく増加しているが、要因は何か。

A

議員年金制度廃止に伴う公費負担増である。  
(詳しくは18ページをごらんください)



(仮称)たまむら物産館の基本設計委託料が計上されているが、完成までの費用総額は。

A

2億円程度を見込んでいる。



ヒブワクチン等を接種した幼児の死亡例が出ているが、今後の予防接種の対応は。

A

現在、接種を見合わせているが、厚生労働省の結論を待って対応していく。



海洋センター大規模改修工事の内容は。

A

老朽化に対応するため、室内外を含めて改修を行う。工事は平成24年度から行い、総額5000万円程度を見込んでいる。



第4保育所の建設にかかる基本設計を行うこととなっているが、どのように進めるのか。

A

保護者や地元区長等に参加してもらい、検討委員会を立ち上げて検討する。平成25年度には建設を開始する予定である。



(仮称)高崎・玉村スマートインターチェンジ負担金とは何か。

A

この事業は高崎市と共同で行っており、面積割で費用を負担している。供用開始は平成25年度の見込みである。